

## 1. 研究課題と報告の対応

課題名(研究期間)	
	報告タイトル(掲載ページ)
I ツキノワグマの低コストな生息状況把握手法に関する研究(H24(2012)~H26(2014))	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高原山系におけるヘア・トラップ及びカメラトラップを用いたツキノワグマの個体数推定(p1~17)</li> <li>・高原山系におけるカメラトラップを用いたツキノワグマの個体数推定(p18~24)</li> </ul>
II 野生動物の効果的捕獲技術に関する研究(H22(2010)~H28(2016))	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニホンジカ捕獲における待ち受け型誘引狙撃法の有効性の検討(p25~30)</li> </ul>
その他	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動撮影法を用いたニホンジカ個体群モニタリングの試み II (p31~38)</li> <li>・両毛地域周辺の狩猟者にみられる東日本大震災後の狩猟機会の変化(p39~46)</li> <li>・放射能汚染が栃木県の狩猟者の行動に与えた影響(p47~60)</li> <li>・那須塩原市百村本田における住民の野生鳥獣害に対する意識一経年比較及び近隣地区との比較一(p61~66)</li> <li>・栃木県における平成24年度の傷病野生鳥獣救護結果(p67~71)</li> </ul>

## 2. 研究所管の変更に伴う研究紀要の廃止について

栃木県県民の森管理事務所が所管していた野生鳥獣に関する試験研究業務は、平成 25(2013)年 4 月より林業センターに移管されました。このため、本研究紀要は、栃木県林業センターが発行しています。

なお、野生鳥獣研究紀要は本号をもって廃止とし、平成 25(2013)年度以降の報告は林業センター研究報告として発行します。研究報告は紙媒体での印刷をせず、電子データによるホームページ上での公開のみとなる予定です。

## 3. 電子データについて

この研究紀要に掲載されている報告は、すべて PDF データに変換されており、栃木県林業センターの公式ホームページからダウンロードすることができます。

なお、野生鳥獣研究紀要No.35 に添付した「年報・研究紀要ライブラリー」を使えば、検索ソフトを使用し、これまでの全ての報告をタイトル検索して取り出すことができます。

平成24年度 野生鳥獣研究紀要

No.39

2014年3月発行

栃木県林業センター

〒321-2105 宇都宮市下小池町 280

TEL 028-669-2211

FAX 028-669-2212